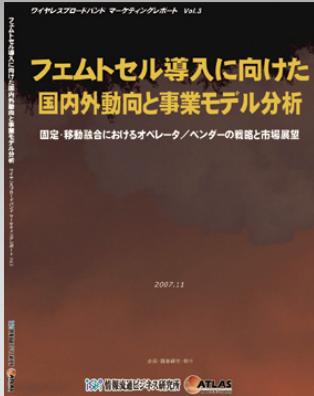


フェムトセル導入に向けた 国内外動向と事業モデル分析

NEW

大好評販売中!!



- 超小型基地局「フェムトセル」の商用化に向けた動きが加速しています。フェムトセルはホームゾーン料金の代替やデータARPU向上策として有望視され、さらには既存の事業構造を極力維持しつつ、携帯事業者を開放型ビジネスモデルに導くなど、その意義と効用は大きいものと考えられます。
- インフラベンダーの動きも活発化しています。さらにはUMAフェムトセルのように、携帯事業者におけるFMSソリューションとしての潜在力も見逃せません。フェムトセルは、事業者間コンバージェンス競争の行方を左右するキーファクターとして、位置付けられるまでになっています。
- 本レポートは、フェムトセルの概念・構造・登場背景はもとより、主要ベンダーとオペレーターの戦略、導入課題を明確化。それとともに、FMC/FMS時代におけるフェムトセル戦略とサービス、ビジネスモデルの方向性を提示し、導入の意義や必然性、インパクトなどを多角的に分析したものです。

■価格：~~157,500円(税込み価格/本体150,000円+税7,500円+翌日配達便送料サービス)~~

■特別価格：**大好評御礼、2008年3月14日より、55,000円の特別割引販売開始!!**

税込み99,750円でご提供開始(本体95,000円+税4,750円・翌日配達便送料サービス)


■発行日：2007年11月12日(第一版第1刷)/2008年3月14日(第一版第4刷)

■企画発行：有限会社 情報流通ビジネス研究所・企画調査グループ

■体裁：A4変型判・120ページ・表紙カラー印刷PP加工・本文カラー印刷・並製

■お申込み：下記のお申し込み書にご記入の上、弊社までFAXして下さい。確認のご連絡を致します。※書店ではお求めになれません

■お支払い：レポートと一緒にご請求書をお送りいたしますので、弊社指定口座まで代金をお振込み下さい

■お問合せ/
お申込み先  **情報流通ビジネス研究所** **Info-Sharing Business Institute, Ltd.** **TEL 046-271-2323 FAX 046-271-2324**
ワイヤレスブロードバンド担当 〒242-0006 神奈川県大和市南林間2-18-23長尾会計1F

レポートの内容につきましては、ウラ面をご覧ください

「フェムトセル導入に向けた国内外動向と事業モデル分析」お申込書(※は必ずご記入下さい)

送信先FAX番号 046-271-2324

お申込日	年 月 日	お申込部数	冊	フリガナ	
※御社名				※ご購入者様名	
※部署名					
※所在地	〒 -				
ご購入者 連絡先	※ TEL			FAX	
	※ E-mail	※内容お問合せ時等に必要です			

通信欄 (ご購入者と請求書発送先が異なる場合のご担当者名/部署/ご連絡先や、お見積書が事前に必要な場合など、ご記入下さい)

WB80314

「フェムトセル導入に向けた国内外動向と事業モデル分析」

レポートの主な内容

Introduction

1. フェムトセルの概要

- 1.1 フェムトセルの概念と特徴 1.2 フェムトセルのシステム構造 1.3 フェムトセルにおける4つのサービス方式

2. フェムトセルの登場とその背景

- 2.1 マクロセルによるホームゾーンサービスの限界 2.2 屋内無線データ通信の需要増大
2.3 FMCとFMSトレンドの拡大

- (1) 欧州市場 (2) 北米市場 (3) 韓国市場 (4) 国内市場

3. 国内外における通信事業者の動向と戦略

- 3.1 欧米市場 (1) 英ボーダフォン (2) 仏フランステレコム (3) 独T-モバイル (4) 英O2 (5) 米スプリント・ネクステル
3.2 韓国市場 (1) SKテレコム (2) KT
3.3 国内市場 (1) NTTドコモ (2) ソフトバンク

4. ベンダーの動向と戦略

- 4.1 Tier1 ベンダー (1) エリクソン (2) アルカテル・ルーセント (3) ノキア・シーメンス (4) サムソン (5) NEC (8) ZTE (9) 華為
4.2 Tier2 ベンダー (1) PicoChip (2) ip.access (3) Airwalk (4) Ubiquisys
4.3 フェムトセルベンダーへの投資動向 (1) Ubiquisys (2) Picochip (3) Tataru Sysmtems (4) ip.access

5. フェムトセルの導入効果と課題

- 5.1 フェムトセル導入による費用節減効果 (1) 基本仮説と変数を選択 (2) フェムトセル導入の試算事例
5.2 フェムトセル導入過程における9つの 이슈 (1) 移動通信事業者による移動通信事業者のためのフェムトセル (2) フェムトセルは誰のものか?
 (3) フェムトセルをどこに使うか? (4) コア網接続の3つの方法とインターフェース問題 (5) 認証なきオープンインターフェースの限界
 (6) 迅速なコスト節減 (7) タイミングの重要性 (8) 周波数干渉を避けるためのRF計画 (9) Femto Forumの活動
5.3 フェムトセル導入における3つの障害と4つの変数
 (1) フェムトセル導入の3つの障害 (2) フェムトセル市場の行方を決める4つの変数

6. 固定・移動融合時代におけるフェムトセル戦略

- 6.1 音声カバレッジ拡大とFMS戦略 (1) デッドスポットのカバーによる新規収益創出 (2) フェムトゾーン料金プランによるFMS
6.2 データARPUをあげる無線ブロードバンド戦略 (1) マクロセルによる3Gネットワークの補完 (2) ユーザーエクスペリエンスの改善
6.3 開放型ホームゲートウェイ戦略 (1) ドライブインフォースとしての開放型ビジネス・モデル (2) 標準化を通じた料金値下げ
6.4 フェムトセル戦略の方向性と事業者別ポジショニング (1) コンバージェンス競争とフェムトセル戦略の進展 (2) 主要事業者におけるフェムトセル戦略のポジショニング

7. フェムトセル市場と予想されるサービス

- 7.1 音声系サービス市場と予想されるサービス (1) フェムトセルにおける音声系サービス市場 (2) フェムトセルで予想される音声系サービス
7.2 データ系サービス市場と予想されるサービス (1) フェムトセルにおけるデータ系サービス市場 (2) フェムトセルで予想されるデータ系サービス

8. 今後の展望

- 8.1 モバイル2.0の開放型ビジネスモデルをリード
8.2 屋内サービス利用者経験が今後を左右
8.3 デュアルモードからフェムトセルに進化するUMA (1) 移動通信事業者のFMS選択肢として再浮上するUMA (2) 「UMAフェムトセル」の登場と戦略的意義
8.4 無線ブロードバンドの3つのビジネスモデルと今後 (1) マクロセルによる「閉鎖型モデル」 (2) フェムトセルによる「部分開放型モデル」
 (3) WiMAXによる「完全開放型インターネット・モデル」 (4) 無線ブロードバンド・ビジネスのポジショニングと今後の展望

Appendix I: 参考資料

Appendix II: 用語解説

Appendix III: フェムトセル関連主要トピック

図一覧

- [図 1] フェムトセルのネットワーク構造とサービス概念図
[図 2] フェムトセルのシステム構造(W-CDMAフェムトセル)
[図 3] フェムトセルの4つのサービス方式
[図 4] 世界無線データ利用者の推移(2006~2011)
[図 5] 韓国コンバージェンス市場における「FMC1.0vs.FMC2.0」の比較
[図 6] 韓国における携帯電話3キャリアのコンバージェンス競争
[図 7] KTグループの融合サービスにおける提携図
[図 8] SKグループの融合サービスにおける提携図
[図 9] LGグループの融合サービスにおける提携図
[図10] KDDIの「OFFICE FREEDOM」
[図11] NTTドコモの「Business mopera IP Centrix」サービス
[図12] スプリントのフェムトセルサービス「Airave」のネットワーク構造
[図13] スプリントが提供するAiraveフェムトセルのイメージ
[図14] PicoChipが提供するWiMAXフェムトセルのイメージ
[図15] ソフトバンクにおけるUbiquisysのフェムトセル利用実験
[図16] NTTドコモとソフトバンクのフェムトセル戦略比較
[図17] アルカテル・ルーセントのBSR Femto基地局とサービスイメージ
[図18] サムソン「UbiCell」のイメージとネットワーク構造
[図19] Ubiquisysのフェムトセルを利用したNECのデモ
[図20] 華為のフェムトセルAP基地局
[図21] 華為が「ワイヤレスジャパン2007」で披露したフェムトセル
[図22] Picochipが考えるフェムトセルの概念とサービス構造
[図23] Ip.accessが提供したフェムトセル「Oyster」とネットワーク構造
[図24] AirWalk Communicationsのフェムトセル
[図25] Ubiquisysが提供するZoneGateフェムトセルとサービス・プラットフォーム
[図26] マクロセル基地局運用コストの例(per month)
[図27] データ速度別の加入者当り年間費用の節減効果
[図28] フェムトセル普及率別の加入者当り年間費用の節減効果
[図29] フェムトセル価格による費用節減効果

- [図30] フェムトセルを中心としたコンバージェンス競争のダイナミクス
[図31] 主なフェムトセル企業における戦略のポジショニングマップ
[図32] フェムトセルの音声市場ポジショニングと需要の発展方向
[図33] フェムトセルのデータ市場ポジショニングと予想されるサービス
[図34] フェムトセルによる無線データビジネスモデルの変化
[図35] デュアルモード端末とフェムトセルが共存するUMAサービスコンセプト
[図36] スプリントの3つの無線データビジネスモデルとフェムトセルのポジショニング

表一覧

- [表 1] フェムトセルとデュアルモードFMCの比較
[表 2] フェムトセル方式の長所と短所
[表 3] BTとFTのUMAIによるFMCの比較
[表 4] BTとFTのFMCホームゲートウェイの比較
[表 5] 欧州のコンバージェンス競争動向
[表 6] 米国電話会社とケーブル会社における融合サービスの現状
[表 7] ベライゾンが提供するオーダーメイド型融合商品
[表 8] FMC/FMS形態別の端末、ターゲット市場、KSF
[表 9] スプリントが提供するAiraveフェムトセルの仕様
[表10] ドコモとソフトバンクのフェムトセル比較
[表11] 世界の移動通信事業者における主なフェムトセル導入動向
[表12] Picochipの3GフェムトセルSW/FW/ファレンス・デザイン
[表13] Picochipのフェムトセル向けPC202チップ搭載イメージと主要スペック
[表14] Picochipが提示するフェムトセルの進化
[表15] Ubiquisysのフェムトセル関連提携動向(2006~2007)
[表16] フェムトセルベンダーへの主な投資動向
[表17] フェムトセル市場の方向性と関連4変数
[表18] フェムトセルで実現可能な3つの戦略と波及効果、KSF
[表19] フェムトセルで予想される音声・データサービス
[表21] 無線データ通信の3つのビジネスモデルと主な特徴